

## 令和2年度における政策評価

秋田県公安委員会 秋田県警察本部長

政策名	犯罪の起きにくい社会づくりの推進
評価実施者	秋田県公安委員会、秋田県警察本部長
評価対象	犯罪の起きにくい社会づくりの推進
評価時期	令和2年7月

## I 政策を取り巻く治安情勢

本県における令和元年中の刑法犯認知件数は2,162件と4年連続で3,000件を下回り、現行統計方式を採用した昭和21年以降最小を記録するなど犯罪の総量抑止が図られている。

一方で、全国的に子供が被害者となる凶悪事件が発生し、当県においても、子供に対する声掛け事案などの取扱いが高水準であるなど子供の安全確保が喫緊の課題となっているほか、特殊詐欺被害が増加傾向にあるなど体感治安の向上には至っておらず、県民の治安に対する不安は、刑法犯認知件数の減少とは対照的により厳しくなっている。

## II 政策の目的

近年、新たな手口の特殊詐欺やサイバー犯罪、子供や女性に対する犯罪の発生が県民の治安に対する不安を増大させている。そのため、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進として、地域安全ネットワークを構成する町内会を始め、自治体、学校及び防犯ボランティア等の関係機関・団体に対する活動の支援や効果的な情報発信を行い、地域住民の防犯意識の高揚を図るとともに、社会における規範意識の向上を促進し、犯罪の起きにくい、安全で安心な地域社会の実現を目指すものである。

## III 政策を構成する施策の推進状況及び評価結果

## 1 施策推進の基本及び取組

## (1) 基本

地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策として、それぞれの地域における犯罪の発生を分析し、これに基づき「秋田県地域安全ネットワーク」を構成する町内会や自治体等関係機関・団体に対する支援を積極的に行うことにより、犯罪の起きにくい地域社会の構築を図るとともに、犯罪の発生状況に応じた抑止対策や検挙活動を推進し、安全で安心な地域社会の実現を目指す。

## (2) 取組

- ア 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進と「秋田県地域安全ネットワーク」による地域安全活動の推進
- イ 子供、女性及び高齢者を犯罪から守るための対策の推進
- ウ 特殊詐欺の被害予防に関する総合的な対策と検挙活動の推進
- エ 鍵掛け等盗難被害防止対策と検挙活動の推進

## 2 数値目標及びその達成状況

各施策の指標	指標	H28	H29	H30	R1	R2	直近の達成率
刑法犯認知件数から見る治安情勢	目標	3153	2946	2427	2459	2161	113.7
	実績	2947	2428	2460	2162		
	達成率	107	121.3	98.7	113.7		
防犯ボランティア団体数からみる自主防犯意識の指標	目標	225	225	222	218	216	94.5
	実績	250	241	226	206		
	達成率	111.1	107.1	101.8	94.5		
	目標						
	実績						
	達成率						
	目標						
	実績						
	達成率						
	目標						
	実績						
	達成率						

## 3 施策の評価結果

施策名	推進状況		施策評価の結果			
	事業数	事業費 (千円)	必要性	有効性	緊急性	総合評価
1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進	1	9,997	A	A	A	A
2 「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上	1	2,364	A	B	A	A
3						
4						
5						

## 4 施策の推進状況

<p>推進状況</p> <p>(1) 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進 それぞれの地域における犯罪情勢の分析により、地域住民が不安を感じる犯罪を抽出し、これに基づいた犯罪抑止対策を重点的に実施した。</p> <p>(2) 情報発信活動 「秋田県地域安全ネットワーク」を活用し、地域住民に対してミニ広報紙や交番・駐在所速報、地域安全メール等による情報発信活動を積極的に実施した。</p> <p>(3) 要望把握活動 地域住民が日頃安全に対して感じている不安、地域安全活動の取組に支障を来していることなどを把握するため、町内会の会合等に出席し、住民要望の施策への反映に努めた。</p> <p>(4) 地域安全活動に対する支援活動(子供、女性及び高齢者対策) 地域安全活動のリーダーや後継者の育成、さらには活動を活発化するため、令和元年中「地域安全ネットワーク推進交流会」を延べ34回開催したほか、地域住民や学校等における防犯教室、不審者対応訓練等を延べ526回開催するなどの支援活動を行った。令和元年末時点、県内において206団体の自主防犯ボランティア団体が活動し、警察と連携して効果的な地域安全活動を推進している。</p> <p>(5) 高齢者対策の推進 高齢者の安全で安心な暮らしを守るため、関係事業者又は関係団体との協力体制やネットワークの拡充、地域コミュニティ支援活動等を展開するなど、部門横断的な情報共有を図り、対策を推進している。</p> <p>(6) 窃盗、特殊詐欺等の被害防止対策 鍵掛けや特殊詐欺の被害防止を呼び掛けるポスターを作成して各地域の公共施設等に掲示したほか、街頭での各種キャンペーンを多数開催するなど、積極的な広報啓発活動を推進した。</p> <p>(7) 街頭防犯カメラの整備 犯罪の発生が多い地域に街頭防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止を図った。</p>
--

#### IV 政策の推進状況に関する県民意識

秋田県地域安全ネットワークを活用した情報提供や各種研修会の開催など、地域安全活動に対する支援を推進した結果、県民から「最近の犯罪の手口などについて知ることができた。」「教えてもらった防犯パトロールの注意点などについて、団体の活動に生かしたい。」等の意見が寄せられており、政策に対する県民の理解と協力が得られている。また、高齢者から特殊詐欺の被害防止に関する講話の依頼が増えたことや、街頭防犯カメラの設置に対し「安心感がある。」「犯罪の抑止に効果が期待できる。」等の意見が寄せられており、本対策の一層の促進が求められている。

#### V 政策の評価

##### 総合評価

A 目標達成  B 目標を8割以上達成  C 目標達成が6割以上8割未満  D 目標達成が6割未満

##### 1 政策の推進状況

秋田県地域安全ネットワークを活用した情報発信活動や地域住民の要望把握活動、地域安全活動に対する支援等を積極的に実施した結果、地域住民の自主防犯意識の高揚が図られ、自主防犯パトロールや広報活動等、地域住民による各種地域安全活動が活発に行われている。また、地域の犯罪情勢を分析し、その実態に即した犯罪抑止対策、街頭キャンペーン等の広報啓発活動を積極的に推進した。

その結果、地域や罪種によっては増加した犯罪があるものの、県内の刑法犯認知件数が現行統計方式を採用した昭和21年以降最小を記録するなど、本政策は順調に推進されている。

##### 2 課題と今後の推進方向

本政策の推進により、当県の刑法犯認知件数が昭和21年以降最小を記録するなど犯罪の総量の抑止に一定の成果を挙げている。

一方で、急速に進んでいる高齢化に伴い、防犯ボランティア団体の構成員も高齢化し、団体の数が年々減少傾向にあり、防犯ボランティア活動の担い手の確保が課題となっている。

これらの情勢を踏まえたうえで、安全で安心な地域社会を実現するため、地域の治安情勢に応じて柔軟に本政策を発展させ、地域住民や自治体のほか、事業所等を交えた連携と協働により、犯罪の起きにくい社会づくりのための活動を推進する。

#### VI 政策評価委員会の意見

(政策評価委員会に対して諮問する政策のみ記載)